

令和2年6月11日

保護者様

武雄市立東川登小学校
校長 橋本 良子

猛暑時のマスク着用について

学校が再開して、まもなく1か月がたちます。保護者の皆様におかれましては、毎日の検温、健康管理等、新型コロナウイルス感染症予防にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。学校では、手洗いの励行、手すりやドア、机などの消毒、換気等に取り組んでいるところです。

6月に入り、急に蒸し暑くなり、また日中の気温も上がっているため、朝から、エアコンを入れて対応しています。冷房時でも常時換気が必要なため、エアコンの温度設定を下げるなどして調整を行い、校内においては、職員、児童すべて基本的には、マスクを着用して過ごしています。

一方で、スポーツ庁からの通知や武雄市の方針に沿って、体育の授業や気温が高い時の屋外で活動する場合に十分に距離を取りながら（2メートル以上）活動する、活動後の手洗い徹底することを全職員で共通理解し、児童にはマスクを外して活動させています。

今後、ますます気温が上がり、今まで以上に暑くなります。そこで、猛暑時のマスク着用については、厚生労働省の「新しい生活様式」における熱中症予防に関する通知や武雄市の方針に沿って、以下のように対応します。ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

【登校時】

登校班で、距離を保って歩くのは、かなり難しいと考えられます。マスクの着用を勧めますが、気温や体調を見られて、マスクを外して登校させていただいてもかまいません。ただし、前の人に近づきすぎたり、ずっとしゃべって歩くことがないように指導をしていますので、ご家庭でも声をかけていただき、送り出してください。

【校舎内】

エアコンを使用しますので、校内では、これまで通りマスク着用とします。昼休み後の掃除についても、遊びから5分前には室内に戻り、汗を拭いたり水分補給をしたりして、少し体を冷やしてからマスク着用での掃除に臨んでいます。

【校舎外】

運動場や体育館での体育の授業の時は、マスクを外して活動します。ただし、人と人との距離が近くならないように学習を行っています。また、昼休み等、外で遊ぶ時にも、マスクを外して活動してよいとしています。

【下校時】

集団下校の際に、下校の際も、熱中症対策として、マスクを外して帰ってもよいという話をしています。ただし、登校時と同様、前の人に近づきすぎない、ずっとおしゃべりして帰らないという約束もしています。実際にどれくらい離れていないといけないのか、2メートルの距離をとったライン上に並んで確認しました。



【水曜日の集団下校：相手との距離は2m】



【教室の換気：エアコン稼働中も2台の扇風機併用で2か所のドアか窓は常に開けたまま】